**第12回東日本A級ディンギー選手権2019佐島大会**

**帆走指示書**

1. 適用規則

1－1 本レガッタは全日本A級ディンギー選手権大会競技規則に準じ、「セーリング競技規則2017－2020（RRS）」（競技規則）、「A級ディンギークラスルール」、レース公示及び本帆走指示書を適用する。

1－2 競技規則42の違反に対しては、附則Pを適用する。

1. 参加資格

日本A級ディンギー協会加盟東日本水域クラブの艇及び選手及び協会が認めた他地域からの協会加盟クラブとする。

1. 競技者への通告及び帆走指示書の変更

競技者への通告は、陸上本部（湘南サニーサイドマリーナ・レース運営室）の置かれる公式掲示板に掲示される。帆走指示書の変更は、それが発効する当日の08：30までに掲示される。但し、レース日程の変更は、発効される前日の18時迄に掲示する。

1. 陸上で発する信号

4－1 陸上で発する信号は、陸上本部付近のフラックポールに掲揚する。

4－2 音響一声とともに掲揚するD旗は「予告信号は、D旗掲揚後20分以降に発する」ことを意味する。

1. レース日程

9月21日（土）

　08：00：受付（陸上本部）

　08：30：監督会議（マリーナ）

　09：00：開会式（マリーナ）

09：55：第１レース予告信号。但し、15時以降の予告信号は発しない。

　17：00：懇親パーティー（マリーナ）

9月22日（日）

　08：55：2日目の第1レース予告信号。

　　　　　 引き続きレースを行う。

　　　　　　但し、13時以降の予告信号は発しない。

　15：00：閉会式（マリーナ）

1. レース方式及びクラス旗

信号旗「O」旗をクラス旗とし、木造艇クラスとFRPクラスを同時スタートとし、

クラス別着順、得点とする。（スーパーシニアレースは行わない）

1. レース海面

レースエリアは、湘南サニーサイドマリーナ沖合とする。

1. コース

[スタート]→[1マーク]→[2マーク]→[3マーク]→[1マーク]→[流し込みフィニッシュ]

1、2、3の各マークは黄色円筒形のマークを使用する。

[アウター]は3マークを併用する。　[コース図参照]

但し、風力によってはコース短縮を行う場合がある。

1. コース短縮

コース短縮をする場合は、本部船及び運営艇に「S」旗を掲揚し、音響信号2声で当該マークにてフィニッシュとする。

1. スタート

10－1 スタートラインは、本部船上のオレンジ旗と黄色三角錐のアウターマークの間

とする。

10－2 予告信号（5分前）クラス旗（O旗） 掲揚　音響　1声

　　　準備信号（4分前）準備信号旗　　　 掲揚　音響　1声

　　　　　　　（1分前）準備信号旗　　　 降下　音響　1声

　　　スタート　　　　　クラス旗　　　　 降下　音響　1声

10－3 スタート信号の4分後にはスタートラインは消滅し、それまでにスタートしな

かった艇は、審問なしに「DNS」と記録される。これは附則4.1を変更している

　　10－4 ジェネラル・リコールの際は、第一代表旗を掲揚し、音響信号2声が発せられ

　　　　　る。新しいスタートの予告信号は第一代表旗降下（音響信号1声）の1分後に

発せられる。

　　10－5 ジェネラル・リコールの後、レース委員会の判断で黒色旗スタートとすること

　　　　　がある。黒色旗スタートで「黒色旗規則」に違反した艇は、再度ジェネラル・リ

コールとなっても次のスタートには参加できない。

1. リコール

リコール艇がある場合は、「X」旗を掲揚し、音響信号1声が発せられる。

スタート信号後、4分以内にリコールを解消しない艇は「OCS」と記録される。これは

附則4.1を変更している。

1. コースの次のレグの変更

スタート後はコースの次のレグは変更しない。（これは競技規則33を変更している。）

1. フィニッシュ

フィニッシュラインは青色旗を掲げた運営艇のオレンジ旗とアウターマークの間とする。尚、コース短縮の場合は、S旗を掲げた運営艇のS旗とマークの間とする。

1. タイムリミット

先頭艇がフィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「DNF」

と記録される。

1. ペナルティー

　　ペナルティーは競技規則44.1を変更し、「1回転ペナルティー／360度回転」とする。

1. レースの中止・延期

「N」旗　　：　レース中止、スタートラインに戻れ。N旗降下1分後に次のレースの

予告信号を発する。

　　「N」旗 ＋「H」旗　：　レース中止、ハーバーに寄港せよ。すべてのレースを中止す

る。

　　「AP」旗 ＋「H」旗　： レースは延期、ハーバーに帰港せよ。

　　　　　　　　　　　　　　 その後の予定は陸上にて通達する。

1. レース回数

　　レース回数は、最大6レースをする。其々のクラスとも1レース完了をもって成立

する。

1. 得点

　　競技規則‐附則A4「低得点方式」を適用し、スベテノレースの合計得点とする。

　　これは附則A2を変更している。

1. 抗議

　　抗議しようとする艇は、本部船に抗議の意思を伝え、最終レース終了後60分以内 に大会本部に所定の手続きをする。

1. 出艇申告・帰着申告

全ての艇は各レース日毎に出艇前に所定の書式に基づき、出艇申告をすること。

尚、出艇後何らかの理由で乗員に変更ある場合は、海上において本部船に口頭にて変更届をすること。また、各レース日の最終レース終了後には帰着後、帰着申告すること。

1. リタイア

リタイしようとする艇、及び引き続き行われるレースに出走しない艇は、速やかに本部船又は運営艇にリタイアの意思を伝え、レース海面を離れなければならない。

1. 表彰

「木造艇クラス」、「FRP艇クラス」の各クラス1位、2位、3位には賞状及び副賞を与える。

1. 安全規定

全ての乗員は離岸してから着岸までの間、有効な浮力を有するライフジャケットを着用しなければならない。

1. ゴミの処理

艇はゴミをする水中に捨ててはならない。支援艇に渡しても良い。

1. 支援艇

25－1　支援艇はチーム名のわかる標識や旗を掲げ、各自の責任で運行することができる。

25－2　支援艇はレース艇、レース委員会艇及びプロテスト委員会艇を妨げてはならない。

　　　 また最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から全てのクラス艇がフィニッシュするか若しくはリタイアするか、またはレース委員会艇が延期、ゼネラルリコール若しくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

25－3 天候等の状況によりレース委員会から各支援艇は、艇に対する救助要請等を行う場合がある。

25－4 本部船に国旗日の丸が掲揚された場合には、全ての支援艇は救助活動に従事する事。この旗はレース中であっても掲揚されることがある。

1. 責任の否認

本大会は競技者が自分自身の責任（競技規則4「レースをすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体並びに大会運営関係者は、大会前、

大会中又は大会後に生じた物的損傷又は個人の負傷若しくは死亡に対する如何なる責任も負わない。

1. JADA・Vip委員会撮影及びトラッキングに関して

27－1　レース委員会は、参加艇の一部又は全部に対してスマートフォンその他の機器に

　　　 よる航跡追跡及びそのデーター取得等のための機材の搭載を要請する場合がり、

要請を受けた競技艇はこれを拒むことができない。

　　　 また、航跡追跡のデーターにかかる所有権、著作権、その他一切の権利は、全て

　　　 日本A級ディンギー協会に帰属するものとし、レース参加者は、その利用ににつ

いて一切の異議を述べない。

　27－2　レース委員会はレース準備中ならびにレース中に撮影を行うことがある。レース

参加者は、これを承諾する。又、撮影された映像の権利は全て日本A級ディンギ

ー協会に帰属するものとし、レース参加者は、肖像権その他の権利を行使せず、

また、当該映像の複製、上映、その他の利用について一切異議を述べないものと

する。

以上

日本A級ディンギー協会

第12回東日本A級ディンギー選手権2019実行委員会